運天亜希子教諭(36)やPTAの事務員らが、

国に古着を送る活動に取り組んだ。

袋に詰め込んだ。

## 豊見城南高の教諭、PTA



国際貢献で、古着を海外に送った豊見城南高校の上運天亜希子

# ち寄った子ども用の服や手提げバッグなど約200枚分を 各家庭から持 発展途上 人の上 とPTAの事務員ら=9日、同校 ワクチン接種や雇用創出支援

がままならない国に思い

服をもらったりあげたり

。ママ友たちと子ども

している中で、

服の購入

けた。PTAが賛同なでである。 を2枚、日本リユースシ收3300円の大きな袋 100枚の服が入る し、同僚に声を掛

ていきたい」と語る。こできることを考えてや がるという。 ための雇用創出にもつな 上で「生徒主体で社会 ンSDGsアワードを 上運天教諭は 古着は現地の

# 【豊見城】豊見城南高校の教職員とPTA が自身ができる範囲で国際支援をしようと、 (山口信江会

SDGs

自宅で不要となった服を 国際貢献」との思いから、

海外へ送った。

#### 琉球新報 DIGITAL

2022年2月18日13:53

### 発展途上国に古着 200 枚分 豊見城南高校の教諭と PTA ポリオ接種や雇用創出を支援

【豊見城】豊見城南高校の教職員と PTA (山口信江会長) が自身ができる範囲で国際 支援をしようと、発展途上国に古着を送る 活動に取り組んだ。9日、呼び掛け人の上 運天亜希子教諭(36)や PTA の事務員らが、 各家庭から持ち寄った子ども用の服や手提げ バッグなど約200枚分を袋に詰め込んだ。



国際貢献で、古着を海外に送った豊見城南高校の上運天 亜希子教諭(左端)と PTA の事務員ら=9 日、同校

古着はミャンマー、ラオス、ブータンなど の支援に取り組む「日本リユースシステム」 を通じて、各国に送られる。

公民を担当する上運天教諭は一昨年、育休を取得。ママ友たちと子ども服をもらったり あげたりしている中で、服の購入がままならない国に思いをはせた。「1年に1回、 国際貢献」との思いから、自宅で不要となった服を海外へ送った。

復職し、同僚に声を掛けた。PTA が賛同し、約 100 枚の服が入る 1 枚 3300 円の 大きな袋を2枚、日本リユースシステムから購入した。

古着は現地で販売され、売り上げの一部が現地の子どもたちのポリオワクチン接種に 活用される。この取り組みは「古着 de ワクチン」の名称で 2010 年に始まり、19 年 には政府主催のジャパン SDGs アワードを受賞した。古着は現地の人が仕分けや販売 をするための雇用創出にもつながるという。

上運天教諭は「自分にできることを考えてやっていきたい」と語る。その上で「生徒 主体で社会問題について考える機会もつくっていきたい」と話した。